

ちひろカレンダー普及ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

2017年
11月11日

ワンコイン募金貯金箱で集めています



【福岡】 朝晩の冷え込みが厳しくなってくる中、被災地では想像以上に困難な生活を強いられています。仮設住宅への入居は始まった福岡県朝倉市で福岡民医連、新婦人、労働組合など多くの懇親的なボランティア活動が行われています。「被爆者援護募金とカレンダー募金を強めています。口のひろいプルトップの貯金箱を 100 均で購入し、援護連帯のシールとは別に、カレンダー募金用にはちひろカレンダーの絵を貼ったものを 30 個用意。募金袋ではまわりきれない大きな事務所などに置かせてもらえるよう頼んでいます」と福岡県原水協の事務局長高橋恵子さん。

カレンダーの被災地贈呈に朝倉市の仮設住宅を考えていましたが、入居できる、できないの状況で誰にどのくらい届けばよいか判断するのも難しいとのこと。学校や幼稚園など子どもたちに届けられるか検討したいと思っているところ。福岡県内、全国からボランティアで懇親的に被災者の方々の声をきき、活動しているみなさんに伝えながら、私たちも平和の願いを届けていきたいと思います。各都道府県原水協へぜひ、応援のワンコイン募金を集めてくださいますよう、よろしくお願ひします。

被災地の子どもたちにカレンダー届けに行きます

今年も世界大会賛同者や通信読者、生協労連や婦人民主クラブなど団体のみなさん、集会などにご参加された方々から今年もカレンダー募金が集まっています。ご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。

現在、宮城県登米市、塩釜市の仮設住宅入居者、学校などに 300 本送り、地域原水協のみなさんが手渡ししてくださり大変喜ばれました。来週 15、16 日には地元いわき市原水協のご協力、いわき市で一番津波の被害が大きかった豊間地区の小・中学校の子どもたちや、福島第一原子力発電所の 5 号機と 6 号機が立地している双葉町の小・中学校（いわき市勿来（なこそ）の仮校舎）の子どもたち、隣接する広野町の教育委員会での懇談や檜葉町民が避難するいわき市作町仮設住宅へ、カレンダーを届けに行きます。今回は、自交総連東京地連の青年部のみなさんが車の手配と運転を兼ねて初参加していただきます。震災から 6 年 8 か月が過ぎた被災地での現状などを、ちひろカレンダーを手渡ししながらお話を伺ってきます。